

普通科生物科学17班

ツボ押し隊



班員 前田真央 日高美来
甲斐葵 南部快斗

指導者 野崎久美子先生
岩室貴詞先生

研究の動機

以前、九州保健福祉大学で人の体のツボについて聞き興味を持った。



研究の目的

特定のツボを押すと本当にあるのか。



先行研究

- 人の身体のツボは361個
- 効果のある位置や扱い方が確立され、医療に役立っている。
- 血圧は血中酸素濃度が低い場合も高くなる
- ツボを押す→血流が良くなる→血圧が下がる



研究方法

1 被験者に対しパルスオキシメータや血圧計を用いた状態のデータを集める(被験者は普通科生物班の男女)

- ①人迎を被写体で押して見る
 - ②血圧計で血圧を測る
 - ③上の結果から血圧上昇の変化を取る
- ①合谷(ごうこく)を被写体で押して見る
 - ②血圧計で実験後の血圧を測る
 - ③パルスオキシメータを用いて血中酸素濃度を測る

4 大学の先生から得た情報をもとに実験を行う



必要な道具

- 人体の本
- 血圧計
- パルスオキシメーター
- パソコン
- 人体



仮説

• 人迎(じんげい)のツボを押すと血圧がどのくらい下がるのか?

• 合谷(ごうこく)のツボを押すと血流の流れが良くなり血中酸素濃度が上昇するのではないか。



研究計画

• ツボを様々な状態の人を対象に押しみて血流が改善されたかを調べる。

<https://kenko.sawai.co.jp/healthy/>

4～5月	17班でプレ研究
6～7月	人迎(じんげい)の実験
夏休み	データ分析
9～10月	合谷(ごうこく)の実験 データ分析
11～12月	• 結果をまとめる • ポスター作成

参考文献

<https://www.sakatahigashi-h.ed.jp/file/5466>

<https://topics.tbs.co.jp/article/detail/?id=1056> 最強のツボ